



外国人技能実習制度の“今”を伝える

# iBridge

アイブリッジ通信

Vol.10



アイブリッジ協同組合では、新型コロナウイルス感染症への対策として、「事前に実習生・職員全員のPCR検査」を実施し、「陰性」の場合にのみ配属・訪問することを徹底しています。受け入れ先の皆さまに安心していただけるよう、細心の注意と最善の努力を続けて参ります。

## NEWS

技能実習生の受け入れを希望される施設様から、面接のご要望が続々とよせられています。今月だけでも、介護職で34名のお申込みを頂き、順次現地の応募者との面接をおこなっていただいています。現在、特にミャンマーでは、事前に日本語を学んでいる優秀な応募者もたくさん集まっています。また、今面接をおこなった場合は、今年度末頃までに日本への入国が可能となる見込みです。

混迷が続いていたミャンマー情勢も、ようやく落ち着きを取り戻し、市民生活にも活気が戻ってきました。実習生の受け入れをご検討中の施設様は、ぜひお早めに組合へご相談ください。

## 技能実習生の受入れについて

現地での技能実習生の新規募集は、これまでと同様に現地の送出し機関で継続して行っています。また、面接はZOOMなどを使用しリモートで実施しています。

冒頭でもお伝えしましたが、今月だけでも、技能実習生の受入れを希望する施設様から、介護職で34名のお申込みを頂き、順次現地の応募者との面接をおこなっていただいています。また、事前に日本語を学び日本語能力試験N4に合格した応募者も多く集まっています。



ミャンマーでは、クーデターにより大きな影響をうけていた市民生活に、ようやく落ち着きがもどり、行政機関や銀行などの業務も大部分が正常化されてきました。また、新型コロナウイルス感染拡大防止防止のために行なわれていた自宅待機措置も緩和され、在宅からオフィス勤務への切り替えも進み、市民生活にも活気が戻ってきています。

一方、クーデターや新型コロナウイルスの影響で、当面ミャンマーの経済は弱含むと予想されていますが、この経済の低迷による国内の雇用環境の悪化により、海外に職を求める需要が高まっており、日本での技能実習を志す優秀な人材も多くなっているようです。

今面接をおこなった実習生(内定者)は、今年度末頃に日本への入国が可能となる見込みですので、ぜひお早めに組合へご相談ください。

## 内定者の近況インタビュー

今年の4月に面接を行い、埼玉県の特養老人ホームでの受け入れが内定した2名に、近況をインタビューしました。

今後日本での技能実習を予定しているほかの多くの実習生も、この2名と同様、希望や期待に目を輝かせながら、日本語の学習などの事前準備に取り組んでいます。



### P.P.W.さん

- スケジュールを立てて、毎日5時間くらい日本語を勉強しています。
- 会話力アップのために、シャドーイングの音声データを聞いて、自分一人で練習しています。
- また、介護用語や会話の教科書も使って勉強しています。
- 時間のある時に、日本の歌を聞いたり、アニメや映画を見たりしています。
- 心配なことは、日本の習慣やマナーに慣れることです。



## K.M.W.さん

- 介護の実習生として日本に行きますので、日本語でのコミュニケーションが一番大事だと思っています。
- 日本語の語彙、文法、漢字を、毎日バランスよく勉強しています。
- 日本語能力試験(JLPT)のN3の読解、聴解を、YouTubeで動画を見ながら練習しています。
- 介護技術を身につけて、長く日本で働きたいと思います。
- ミャンマー情勢の影響で、日本への入国が難しくならないか、心配しています。

技能実習生のほとんどは、日本に来るのがはじめてです。希望や期待の半面、日本での実習や生活への不安を抱え、緊張した毎日を送っているようです。アイブリッジ協同組合では、このような実習生たちの抱える不安を解消し、自信をもって実習を始めることができるように、出国前には現地の送出し機関で、また、入国後は組合が運営する研修センターで、日本語学習に加え、日本の文化や生活ルール、介護に関する知識など、専任の講師陣が丁寧に指導を行っています。また、配属後も定期的な巡回指導に加えて、組合専属の外国人スタッフによる「母国語相談窓口」を設け、慣れない日本での生活を支えるとともに、メンタル面のサポートもしっかりとおこなっています。

## 定期巡回の状況

外国人技能実習生の監理団体(組合)は、実習生や実習実施者様の実習への取り組み状況を確認する為に、定期的に巡回(監査:3か月に1回以上、訪問指導:第1号実習の場合1か月に1回以上)をおこない、外国人技能実習機構へ報告書を提出することも義務付けられています。

現在は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のための緊急事態宣言やまん延防止等重点措置などをうけて、実習生や実習実施者様の安全やご要望に配慮し、ZOOMなどのリモートで巡回を行なうことが多くなっています。



リモートでの巡回は、面談自体に特に大きな支障はありませんが、帳簿の確認などは難しい面もあるため、引き続き施設様のご協力をお願いいたします。

例えば、帳簿類については、①認定計画の履行状況に係る管理簿、②技能実習日誌、③出勤簿、④貸金台帳の4点は、どの施設様からも定期的にお送りいただいております。しかしながら、技能実習生の管理簿など技能実習法上事業所に常に備えておくべき書類や労務管理帳票などをすべて確認することは、実質的に難しいため、定期的に保管状況などを確認頂けるようお願いいたします。また、実習生の宿舍についても、特に、生活の乱れはないか、防災対策がおろそかになっていないか、などを中心にご確認をお願いいたします。

## 実習生紹介: Htay Htay Thin さん

テェ テェ ティン 国籍: ミャンマー

鹿児島県 介護老人保健施設配属 2020年2月入国

日本で介護士として働き始めてから、1年3か月がたちました。今は仕事に慣れて、利用者さんや職員さんたちともよくコミュニケーションが取れています。

入社したばかりのころは、利用者さんたちのお名前を覚えることが難しかったです。そして、作業を覚えながら日本語や介護用語の勉強もしなければいけませんので、とても大変でした。ですが、指導員さんや同僚達のサポートと応援をいただいて、日本語能力試験(JLPT)N3と介護技能実習評価試験(初級)に無事に合格することができました。

日本に来てから変わったことは、ルールや時間を守ることです。

実習期間(3年間)が終わった後は、一時帰国して、また日本で続けて働きたいと思っています。



## 組合ホームページ、Facebook

アイブリッジ協同組合では、外国人技能実習制度の概要などをホームページで紹介しています。また、技能実習生同士の情報交換の場として、Facebook ページも開設し、実習生の日本でのQOL(Quality of Life)向上に取り組んでいます。アンケートなども行っていますので、実習生の積極的な参加を働きかけお願いいたします。

また、取り上げてほしい内容などがありましたら、ぜひ組合担当者へご連絡お願い致します。

公式ホームページ	Facebook ページ	Facebook ページ
アイブリッジ協同組合 (日本語)	アイブリッジ協同組合訓練センター (日本語)	ミャンマー人技能実習生の集い (ミャンマー語)
技能実習制度や組合の概要など	入国後講習や生活の様子など	実習生間の情報交換など
		
<a href="https://www.ibridge.or.jp">https://www.ibridge.or.jp</a>	<a href="https://www.facebook.com/ibridge.trainingcenter">https://www.facebook.com/ibridge.trainingcenter</a>	<a href="https://www.facebook.com/ibridge.or.jp">https://www.facebook.com/ibridge.or.jp</a>



### アイブリッジ協同組合

所在地 : 〒104-0061 東京都中央区銀座2-11-8 第22中央ビル9F  
TEL : 03-6228-4196 FAX:03-6228-4896  
URL : <https://www.ibridge.or.jp> mail: [info@ibridge.or.jp](mailto:info@ibridge.or.jp)



2021年6月21日発行